

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 23 日 (2021.12.23)

【公開番号】特開 2020-152836 (P2020-152836A)

【公開日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2020-039

【出願番号】特願 2019-53220 (P2019-53220)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

C 0 8 K 3/34 (2006.01)

C 0 8 K 13/08 (2006.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 67/02

C 0 8 K 3/34

C 0 8 K 13/08

C 0 8 J 5/18 C F D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 12 日 (2021.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリエステル樹脂、及び、全量に対し 0.01 ~ 30 重量%の無機粒子アンチブロッキング剤を含み、

前記無機粒子アンチブロッキング剤の屈折率が 1.530 ~ 1.590 であることを特徴とする、ポリエステル樹脂組成物。

【請求項 2】

前記無機粒子アンチブロッキング剤が層状ケイ酸塩である、請求項 1 に記載のポリエステル樹脂組成物。

【請求項 3】

前記無機粒子アンチブロッキング剤が、屈折率 $\frac{1.530}{1.590}$ のカオリン又はタルクである、請求項 2 に記載のポリエステル樹脂組成物。

【請求項 4】

前記無機粒子アンチブロッキング剤が、 Al_2O_3 と SiO_2 との比が 4 : 6 ~ 5 : 5 のカオリンである、請求項 2 又は 3 に記載のポリエステル樹脂組成物。

【請求項 5】

全量に対し有機系離型剤の含有量が 10 重量%以下である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のポリエステル樹脂組成物。

【請求項 6】

前記有機系離型剤が極性官能基を有する、請求項 5 に記載のポリエステル樹脂組成物。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のポリエステル樹脂組成物を用いて成形された成形体。

【請求項 8】

ポリエステル樹脂、及び、無機粒子アンチブロッキング剤を含むポリエステル樹脂組成物の、JIS K 7136 に準拠して測定される厚さ 200 μ m のフィルムを形成したときのヘイズを 3.0 以下に低減する方法であって、

前記無機粒子アンチブロッキング剤として、前記ポリエステル樹脂組成物の全量に対し 0.01 ~ 30 重量%となる量の、屈折率が 1.530 ~ 1.590 の無機粒子アンチブロッキング剤を前記ポリエステル樹脂と混合することを含む方法。

【請求項 9】

ポリエステル樹脂、及び、全量に対し 1 ~ 30 重量%の無機粒子アンチブロッキング剤を含み、前記無機粒子アンチブロッキング剤の屈折率が 1.530 ~ 1.590 である、第 1 のポリエステル樹脂組成物を、更なるポリエステル樹脂と混合して、全量に対し 0.01 ~ 2 重量%の前記無機粒子アンチブロッキング剤を含む第 2 のポリエステル樹脂組成物を調製すること、及び、

前記第 2 のポリエステル樹脂組成物を成形することを含む、成形体の製造方法。

【請求項 10】

前記第 2 のポリエステル樹脂組成物の調製において、帯電防止剤を更に混合することを含む、請求項 9 に記載の方法。